

令和6年度 第2回秩父市総合教育会議 次第

令和6年12月19日（木）15時～

歴史文化伝承館5階 第1会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 中学校部活動地域移行について

(2) 子どものネットトラブル防止について

4 その他

5 閉 会

「部活動の地域移行」って？

- 部活動を「学校での活動」から「地域での活動」に移行していくこと
- 学校の「部活動」から地域の「クラブ活動」へ
- 部活動の「顧問(学校の先生)」だけでなく「地域の専門的指導者」による指導へ

中学校部活動をどうして「地域移行」していくの？

取り組みたい種目がない
入りたい部活動がない

1 現状

少子化に伴い部が成立しない
チームとして十分に練習ができない
大会やコンクールに出場できない

2 目指す方向性

環境を整備する必要
多様なニーズに応じる環境が必要
「地域の持続可能で多様な環境を
一体的に整備する必要」・・・



3 期待される効果(メリット)

生徒への効果(メリット)

- ・他校の生徒や多世代間での交流を通して人格形成に貢献
- ・ニーズに応じて、多様な取組が可能

地域への効果(メリット)

- ・多世代が交流し、新たなコミュニティが生まれる
- ・既存の施設を有効活用
- ・地域の子供たちが、将来地域の指導者になることが期待できる



秩父市では今後どのように「部活動の地域移行」を進めていくの？

秩父市では「秩父市立中学校部活動地域移行推進協議会※」を設置し、協議しています。
今後、以下の計画に基づいて段階的に進めます。まずは、合同部活動の実施など
「**土日、休日の部活動**」の地域移行」を推進します。
(例えば・・・平日は、学校での部活動、土日祝日は地域の活動へ参加する など)

ステージⅠ「活動環境整備期間」

推進協議会において方向性を示し、活動環境
の整備を進めます(令和5年度～令和7年度)
○合同部活動の推進を図ります

ステージⅡ「活動環境定着期間」

部活動から地域での活動(地域移行)に段階的に
拡大していきます(令和8年度～令和10年度目安)

※中学校の部活動の地域移行や地域のスポーツ、文化に係る環境整備の推進に関わる
必要な事項を調査、審議する会

秩父市教育委員会教育研究所

Tel : 0494-22-2446 Mail : kenkyujo-gknw@chichibu-stm.ed.jp



秩父市 休日の部活動地域移行スケジュールについて

○令和10年度末に向けたスケジュール案

年度	R6年度												R7年度												R8年度												R9年度												R10年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期間	活動環境整備期間												活動環境定着期間																																															
中学生	校内所属部活動への参加																																																											
													休日合同部活動への参加（月1回程度～数回）																																															
																									部活動のない休日や夜間に、興味のある地域クラブ活動への参加（任意）																																			
学校													休日合同部活動実施（可能な範囲で月1回程度から実施） （・中学校教職員が顧問として運営） （・自校部員と顧問はセットで活動）												準備ができたところから 休日部活動を地域へ移行 （地域クラブ活動への移行推進） ・希望する中学校教職員が 地域クラブの指導に協力																																			
地域クラブ													中学生の地域クラブへの参加推進 （一般の方と同様）												休日における地域クラブへの 活動参加希望中学生の受入												準備ができたところから 休日地域クラブ活動への移行																							
国・県	【県】リーダーバンク登録開始																																				全中大会種目削減（20→11へ）																							
秩父市	・保護者・生徒・教職員アンケート実施 ・中学校部活動地域移行推進協議会にて 「休日の部活動の在り方について」諮問 （10月中間報告、3月答申） ・県リーダーバンクとの連携																																																											

一生消えないデジタルタトゥー

埼玉県教育委員会

みなさんはデジタルタトゥーという言葉を目にしたことがあるでしょうか？インターネット上に書き込まれたコメントや画像、動画など、一度拡散された情報が半永久的にインターネット上に残されることを指します。軽はずみな投稿や書き込みが一生を狂わせてしまうことがあります。

軽はずみな気持ちで投稿



学校で生徒同士の喧嘩が発生しました。つかみ合いの喧嘩にまで発展。それを見ていたクラスメイトはその様子を動画にとりSNSに投稿しました。



投稿した動画は一瞬のうちに拡散され、ネット上で出回ってしまいます。この動画を見た人たちが、制服から学校の特定や本人の特定を始めました。また本人たちだけでなく、映り込んでいる他の生徒の特定や仲裁に入らないことについてひどい言葉がネット上で浴びせられました。喧嘩自体はお互いが謝罪し解決しました。

学校は迅速にネット上で拡散された動画の削除を行いました。しかし全ての動画を消すことはできませんでした。その結果、行く先々で喧嘩した本人たちは、暴力をふるった人であること、仲裁に入らなかった生徒たちは、喧嘩を煽った人などと言われ続けてしまいます。その状況を知った動画の投稿者はひどく反省しましたが、既にどうすることもできない状態です。

一生消えない傷に

私たちが生活していく上で、いろいろな事が起こります。その中には一般常識として良いこと悪いこと、法律で認められていること禁止されていることなどがあります。一般常識として良いことや法律で認められている事であってもデジタルタトゥーとして残ってしまう可能性があります。ネット上で公開し、絶好の炎上ネタにされた瞬間にデジタルタトゥーとして残り続けてしまいます。本人に落ち度がなくても、第3者に巻き込まれてしまったとしても、個人の名前などネット上に公開されるべきではない情報でも、一度ネットで拡散された情報は消えません。たとえ非公開アカウントでの情報公開だとしてもデジタルタトゥー化してしまう危険性があります。



その情報は、進学や就職、結婚、人付き合い等、今後の私たちの生活の場面で思わぬ形で悪影響を及ぼす恐れがあります。一度デジタルタトゥー化してしまうと名誉の回復は難しいとされています。

日本の人口は約1億2000万人です。人口の数だけ考え方があり、感じ方も異なります。中にはどんな情報でも快く思わない人が存在します。

"本当にこの情報を発信する必要があるのか"を考え、時には"情報を発信しない"選択も必要です。

闇バイトの危険性

埼玉県教育委員会

近ごろ「闇バイト」が関連した強盗事件が各地で相次ぎ、ニュースやテレビ等の各メディアに取り上げられています。中には未成年が逮捕される事件も発生しており、とても深刻な問題となっています。

闇バイトへの入り口

警察庁が発表した闇バイトを始めた経緯に関する情報によると、2023年1月から7月までに闇バイトで逮捕された人の中で、SNSからの応募が約47%と割合が高くなっています。また、SNSで「闇バイト」や「仕事を探している」と検索したり投稿したりすると、闇バイトの求人が表示されることやDMで「お仕事を紹介します」と連絡が来ることがあります。

闇バイトに関与した経緯 ※1



犯行グループは個人情報と引き換えに仕事の詳細を開示してきます。ここで初めて犯罪行為であることが明らかとなるため、断ろうとしても「住所はわかっているから自宅に押しかける」、「家族がどうなるかわからない」、「インターネットに犯罪者として画像をばらまく」など、様々な角度から脅迫をされ、犯罪に加担させられてしまいます。闇バイトは犯罪の実行者を募集するものといえます。

闇バイトへの誘い文句

⚠️ 高額報酬アピール

高額バイト、資金調達
即日払い、お金配り
簡単高収入1日〇〇万円

⚠️ 安全性アピール

ホワイト案件
国対応、リスクなし
犯罪ではありません

⚠️ その他

保証金なし、面談なし
本日稼働、運ぶ仕事
詳しくはDMで

SNSで怪しい求人を見たことがある人は多く、SNSで発信される求人情報が「闇バイト」であるかどうかの判断はとても難しくなっています。上記のような求人を見かけた場合、絶対に連絡してはいけません。

万が一関わってしまった場合、脅迫された場合の対処法



ためらわずに警察に相談してください。闇バイトに手を出してしまうと、逮捕されるまでやめられなくなってしまいます。実際に、闇バイトに応募してしまった後、警察に相談したことで、犯罪行為に加担をせずに済んだり、警察の保護を受けたことで、その後の犯行グループによる脅迫から身を守ることができたりするケースも報告されています。

世の中には楽しく稼げるおいしい話はありません。アルバイトをする場合には必ず保護者に相談しましょう。一度でも関わってしまうと抜け出せません。絶対に闇バイトへ応募をしてはいけません。もし応募してしまった場合は早急に保護者と警察に相談してください。

※1 出典：警察庁発表「令和5年における特殊詐欺の認知・検挙状況等について（暫定値版）」